

企業誘致について



高橋 大

問 企業誘致活動について伺う。

答 昨年度において秋田県の企業誘致はゼロ件で大変に厳しい状況である。誘致による企業の振興、雇用の創出は重大な課題と認識しており、自動車関連産業に留まらない誘致活動をしている。この地域の資源の活用を考えて頂ける企業に進出して頂きたいと考えており、農産品に高い付加価値をつけた製品化などを期待している。食品、健康食品、医薬品メーカーなどがその範疇に入っている。

問 総務省では、ネットワーク経由でソフトや情報サービスを利用する「クラウドコンピューティング」の普及に向けて特区創設の検討を行っている。当市としてクラウド誘致に乗り出すべきでは。

答 当市がクラウドコンピューティングのデータセンター立地に有利な条件があるかどうか精査しなければならぬ。さまざまな情報を収集し、可能性が見つかれば積極的に誘致を考えたい。

問 雪の冷熱を利用しクラウド

のサーバーを冷却することが可能と思うがどうか。また、サーバーをコンテナに積みそれを連結する形がクラウドの主流となっている。県の進めているシーアンドレール構想到に絡め誘致を展開してみてもどうか。

答 この地域の特性が立地に有利な条件を持つているのか検証しなければならぬ。雪にどれだけの冷熱エネルギーがあるのかという分析は我々だけでは出来ない。シーアンドレール構想なども含め検討し、県の担当と協議をしてまいりたい。



分譲中の第二工業団地

- その他の質問
- 観光振興について
- 本庁舎のあり方について

横手西部地区かんがい排水事業に、公的支援の拡充を



奥山 豊

問 四津屋折橋線、未着工の三村工区と延伸の柏木工区の道路改良、大慈寺谷地集落への流雪溝設置、八柏地区の公共下水道、これらの事業推進にあたり住民要望の早期実現にどう応えるか。

答 開校する横手明峰中学への通学路整備が喫緊の課題。このあと般若寺線の八柏工区が急がれている。重要度、緊急度を考慮し順次基幹道路を整備していく。大慈寺谷地集落への流雪溝設置事業は、地域局と連携をとり地域の優先順位を考慮し整備手法、事業費、維持管理費を判断して実施時期を検討する。八柏地区の公共下水道事業は工事の実施に向け検討中である。加入率を向上させる取り組みを進め早期に実施設計に着手できるように地元調査を進めていく。

問 今後予定の横手西部地区かんがい排水事業は公共公益性があり国が行う事業として公的支援の強化が図られるべきと思う。また、管内に未整備地区の排水路がある。市が事業主体となり取り組むべき事業と考えるが今後の対応は。

答 整備予定の大排水路は、農業用水のみならず家庭排水、地域用水機能、洪水時の受け皿として公益性が高い。今後、土地改良区等と協議を続け支援方について検討していく。また、未整備地区の排水路は新制度の情報収集につとめ、整備推進を図りたい。土地改良区外の未整備大排水路については事業費が膨大である。現行の補助事業の要件を欠いているので今後、財源確保について国、県と協議を続け検討していきたい。



整備が待たれる排水路(大雄・大宮川橋付近)

- その他の質問
- 本庁機能の集約について
- わか杉カップ横手大会について
- ごみ処理施設整備事業について